



平成 30 年度（2018 年度）の学校経営方針



広島大学附属福山中・高等学校
校長 渡辺 健次

広島大学附属福山中・高等学校は、そのミッションを以下のように定め、下記に掲げる教育理念に基づく学校教育目標の実現に向けて、教職員が協働して絶えざる努力を払います。

1 附属福山中・高等学校のミッション

本校は、教育基本法ならびに学校教育法に基づいて中等普通教育を施し、広島大学の附属中・高等学校として、以下の事項を特別の任務とする。

- (1) 広島大学と密接な連携のもとに、中等教育の理論および実践に関する高度な研究を推進する
- (2) 広島大学と密接な連携のもとに、その学生の観察・参加・実習に当たる
- (3) 長きにわたる中高一貫教育の伝統に基づき、高度な教育研究を実践し、その成果を積極的に公開する

2 附属福山中・高等学校の教育理念（目指す生徒像）



- ・フロンティア精神をもって、絶えざる創造と自己更新を続ける人間
- ・地域社会に根ざしつつ、国際社会に目を向ける人間
- ・自由と自主の精神をもって、学問を探求し創造する人間
- ・学問探求における論理的・批判的思考力と科学する能力をそなえた人間
- ・自由と自主の精神をもって、日本と世界の真に豊かな社会を構築する人間

3 附属福山中・高等学校の教育目標（学校全体としての教育目標）

- ・自由と自主の精神を迫及し、豊かな教育環境を創造する。
- ・豊かな教養と確かな学力を保証し、生徒個々のニーズに応じた進路を実現する。
- ・備後を中心とした地域社会に貢献する人材を育成する。
- ・グローバル社会をリードする人材を育成する。
- ・質の高い教育実践を迫及し、先導的な中等教育カリキュラムを提案する。

4 附属福山中・高等学校の平成 30 年度学校経営目標

(1) 学校経営

- ・情報発信力をさらに強化し，教育研究活動の成果を中心とした学校の情報を積極的に公開し，効果的な情報発信に努める。
- ・福山を中心とした地域の，教育委員会や学校など様々な組織と連携する。
- ・生徒および教職員の健康と安全が保障されるよう，より快適で安全な学校環境を実現する。
- ・働き方改革の観点，および効果的な予算執行の観点から，学校運営の必要な見直しを行い，その改善を図り，効果的な運営を行う。

(2) 教育活動

- ・自由と自主の精神の教育理念を尊重し，日常の教育活動を推進する。
- ・1962年に導入した中高一貫教育をさらに積極的に推進し，授業，クラブ活動，学友会等，学校全体の教育活動を通して，学年を超え，クラスを超えた協働の学びを充実させる。
- ・自己を客観的にとらえ，責任ある言動を通じ，互いを思い遣ることができる生徒を育てる。
- ・生徒が自身の将来について考える機会を十分に与え，将来への展望が持てるようにする。

(3) 研究活動

文部科学省スーパーグローバルハイスクール(SGH)の4年次の取組みとして，以下の観点を中心に研究活動を推進する。

- ・課題研究，特別講座，新教科，国内研修，海外研修の検証と改善を行う。
- ・広島大学附属学校園研究推進委員会で実施しているグローバルコンピテンシーの開発を通して，当校の研究成果を発信する。
- ・広島大学や他の機関との連携に関する検証と改善を継続して実施する。
- ・SGHの研究開発と成果を外部に発信する。
- ・卒業生の追跡調査を実施する。

(4) 教育実習

- ・広島大学との連携のもとに，教育実習の質保障を図る。
- ・教育学研究科の各講座と連携して，高度な実習を提供する。
- ・教科「教科教育学の実践的検証」を通して教職大学院と連携する。
- ・引き続き，新しい生徒指導実習に取り組む。

